



【参加事業者・自治体募集】

「印刷物のカーボンフットプリント算定ツール」 による簡易検証実験を実施します



この度、カーボンフットプリントコミュニケーションプログラムにおいて、印刷物のカーボンフットプリント(以下CFP)算定のための算定ツールを作成しました。
算定ツールを使用した検証申請案件について、簡易検証実験を実施します。

1.目的と経緯

地球温暖化が世界共通課題として認識され、日本国内においてもライフサイクル視点での製品・サービスの低炭素化は急務となっています。カーボンフットプリント(以下CFP)による製品のCO2の見える化とそれによる削減努力は今後ますます重要となってゆきます。

今後印刷CFP参加事業者を増やすため、従来の信頼性を損ねることなく、算定および検証の作業工数を大幅に削減することを目的に、印刷WGにおいて検討を重ね、CFP算定ツールを作成いたしました。

算定ツールでは、算定者のデータ収集の負荷を極力減らすため、可能な限りでデータの原単位化を実施しています。この成果により、印刷事業者が通常業務で把握可能な最低限の情報を入力することで、CFPの算定が可能となりました。

算定を自動で行うことにより、検証の工数削減も期待されることから、この度、算定ツールのリリースとともに、簡易検証実験を実施いたします。

2.実施内容

【実施期間】 2017年7月～2020年3月31日

【対象】 期間中に算定ツールを使用して申請された印刷物案件

【検証費用】 22,000円/製品(税込) ※通常価格:110,000円/製品

【実験内容】

- ・印刷事業者の方に実際に算定ツールを使っていただくことにより、算定ツールの改善点等のご意見をいただく。
- ・自治体グリーン調達への導入可能性を検討する。
- ・ツールによる検証工数の削減がどの程度可能かを試験する。
- ・今後、他製品への展開が可能か検討する。

※実験に参加いただいた事業者の方には、後日アンケート等のご協力をお願いする場合がありますのでご了承ください。

3.検証申請手続き方法

基本的な流れは通常のCFPプログラムの検証申請と同様です。CFPWEBサイトの「検証申請書」のかわりに、算定ツールをダウンロードしてご使用ください。

CFPプログラムトップページ右下、
「印刷物のCFP算定ツール」をクリック！

算定ツールイメージ

入カシートに必要事項を記入すると・・・

The image displays several screenshots of the CFP calculation tool. The top screenshot shows an 'Input Sheet' (入力シート) with various data entry fields. Below it, a 'Carbon Footprint Calculation Sheet for Printed Matter' (印刷物のカーボンフットプリント算定シート) is shown, which is a detailed table for inputting product and process data. To the right, another screenshot shows the 'Output Sheet' (出力シート), which automatically generates calculation results and verification documents. Red arrows indicate the flow from the input sheet to the calculation sheet and then to the output sheet.

登録情報/データ入力と算出シート/根拠シート等の検証書類が自動で作成されます。

4.登録公開について

検証合格後の登録・公開手続きも通常のCFPプログラムの手続きと同じとなります。

※簡易検証による費用の軽減は、検証費用のみとなります。登録公開料につきましては、通常の料金規程の金額と変更はありません。

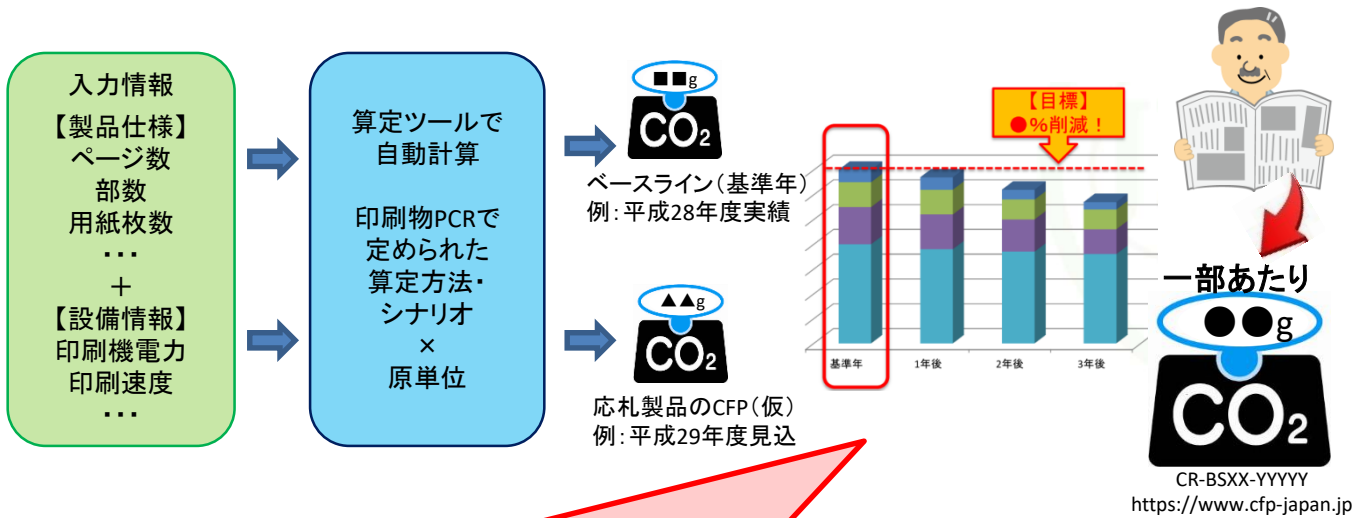
5.今後の展開への期待

CFPの普及にあたっては、算定・検証に関する作業および金銭的な負担が常々課題として挙がっていました。この算定ツールおよび簡易検証を展開することによりその負担の軽減し、より参加しやすいプログラムとなることを目指します。

また、自治体等で算定ツールを活用することにより、グリーン購入、低炭素化の取組、環境活動の普及啓発に役立てることを目指します。

【自治体での活用のイメージ】

- ・広報誌等のCFP値を表示し、削減目標に対して誰が・どのような行動をすることでそれが実現できるかを具体的に示すことで、
 - ・自治体の環境に対する取り組み、考え方を知ってもらうきっかけにする
 - ・住民のライフサイクルでの環境意識を高めるための教材として活用する
 - ・事業者の環境対応を促す …等の効果が期待できます。



※ベースラインCFP、
応札製品のCFP(仮)は
算定支援が可能です。

広報に自身のCFP情報とともに様々なコミュニケーション情報を記載できます

- 【例】
- ・●●市では、原料の調達から廃棄までの環境を考えて広報誌を作っています。
 - ・広報誌の紙を変えることで●tの削減ができました。
 - ・みんながリサイクルすると、●t分のCO₂が減らせます
 - ・●年度からの▲年間で■%の削減を目指します。

【お問い合わせ】

一般社団法人サステナブル経営推進機構 LCAセンター エコリーフ事業室
エコリーフ環境ラベルプログラム事務局 伊藤

TEL: 03-5209-7712

FAX: 03-6687-7360

E-mail: ecoleaf@sumpo.or.jp